

スクラップ

を始めよう

スクラップとは？

スクラップ【scrap】

- 1 新聞・雑誌の記事などを切り抜くこと。また、その切り抜き。「公害記事を一する」
- 2 金属の切りくず。くず鉄。また、自動車など大きな金属製品の廃物。「一の山」

『大辞泉 増補・新装版』より

今回“べっこ”で紹介するのは“2”ではなく“1”の方のスクラップです。

皆さんはスクラップをしてみたことはありますか？近年、NIE(※)の活動も活発に行われているので学校の授業でやったことがあるという学生さんもいるかもしれませんね。

スクラップは就職活動の時事問題対策やビジネスでの情報収集のためになる、というのはもちろんですが、堅苦しいものでなく自分の好きな事に関する記事のスクラップというのも楽しいのでは？と思います。読むだけでなくスクラップすることで自分が何に興味をもっているかあらためて分かりますし、その分野への関心や理解が更に広がるはずですよ。スクラップブック(普通のノートでもOK)、ハサミ、カッター、のり、などご自宅にある基本の文房具で始められますので、ぜひチャレンジしてみてください！



NIE (Newspaper In Education)

「教育に新聞を」の意味で、学校教育で新聞を教材として利用することで教育を活性化しようという運動。日本でも日本NIE委員会が1988年設置されて活動している。
『カタカナ・外来語／略語辞典 改訂版』より

記事を探す



日々、新聞や雑誌を読んでいる中でスクラップしたい記事を探せばいいのですが「ある事柄について遡って調べたい」「自分が買っていない資料にはどんな事が掲載されているのだろう？」と思うこともあるかもしれません。そんな時こそ利用して頂きたいのが図書館です。

新聞は原紙、縮刷版、マイクロフィルム、データベースが揃っています。なかにはかなり昔から揃っている雑誌もありあります。

—記事を探すときのポイント—

■新聞■

- ・各紙のデータベースからキーワード、日付等で検索可能。いつの掲載か忘れてしまった！という場合などはこちらが便利です。

■雑誌■

- ・年間の目次が一覧できる総目次から記事を探すことができます。12月号に掲載される確率が高いですが、雑誌によって異なることもあります。名称が多少違う場合や総目次がない雑誌もあります。
- ・“NICHIGAI MAGAZINEPULUS”は雑誌記事の検索ができるオンラインデータベース。館内で利用可能です。
- ・国立国会図書館ホームページ (<http://opac.ndl.go.jp/index.html>) のNDL-OPAC 雑誌記事索引はインターネットが利用できる環境であればご自宅からでも利用可能です。

詳しくはカウンターへお問い合わせください。

スクラップの保存方法

切って貼るだけでも十分だと思いますが、体系的に保存する場合など、こうしておくとなんか後々便利という方法もあります。

例えば『池上彰の新聞勉強術』ではスクラップのポイントとして次のような点を紹介しています。

- ・日付、出典の明記
- ・ルーズリーフを使用
- ・一枚に一つの記事

上記を統一することで、後でジャンル分けをするときに都合がよいのだそうです。

その他、切り抜いた記事はクリアファイルなどに入れて一週間保存し、改めて内容を見て保存するもの捨てるものを決めるなど、人によって様々な方法があるようです。やっていくうちに自分にあった方法もわかってくるはずなので色々工夫してみてくださいね。時間があればスクラップした記事についてちょっとした感想を付け加えられたら、文中の用語を調べてみるのもいいですね。日々は勉強。

余談になりますが、記事を切るときはどこまでが記事なのかきちんと読んでから切りましょう！ゴミ箱をひっくり返すことになりませんよ…

スクラップの注意点

自分で買った雑誌や新聞なら読み終わったあとに切り抜いてもかまいませんが、図書館の資料は直接切り抜かないようにお願いします！図書館の資料は県民の皆様の財産です。必ずコピーしたものをスクラップしましょう。

関連図書



『池上彰の新聞勉強術』池上彰/著 ダイヤモンド社 2006年(070.4/4)

『調べる技術・書く技術』(講談社現代新書)野村進/著 講談社 2008年(B/901.6/14)
“第二章 資料を集める”でスクラップについても触れています。プロのノンフィクションライターの情報収集技術。これは、参考にすべし！

『新聞わくわく活用事典』鈴木伸男/監修 PHP 研究所 2005年(J/375/3)

スクラップの方法をはじめ、学校で今すぐ始められる新聞を使った学習方法が紹介されています。どれも分かりやすいものなので、夏休みの自由研究に活用してはいかがでしょうか？

『HAPPY NEWS』日本新聞協会/著 マガジンハウス 2005年(049/ハ)

「HONOBONO」「AHAHA」「PACHIPACHI」「POROPORO」「YATTA!」に分類されています。ステキなニュースがいっぱい。収集の参考にも。